



TAKARA
& COMPANY



Tech Driven Disclosure
for Growth



2026年2月10日

各 位

会 社 名 株式会社 TAKARA & COMPANY
代表者名 代表取締役社長 堆 誠一郎
(コード番号 7921 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員総務部担当 中込 克二
(TEL. 03-3971-3260)

投資家視点で再構成、企業価値の本質を株式市場に解き放つ
「エッセンシャル統合報告書」の提供を開始
～分厚い参照冊子から、投資判断のエッセンスへ。中堅・成長企業の対話力を最大化～

TAKARA & CO グループで、ディスクロージャー関連のシステムを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井 恒太）は、上場企業の企業価値向上を支援するため、投資家の投資判断に必要な情報に特化して構成する新しい形式の統合報告書「エッセンシャル統合報告書」の制作・コンサルティングサービスを開始いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、以下の添付書類をご覧ください。

以 上

2026年2月10日

各位

宝印刷株式会社
代表取締役社長 白井 恒太

投資家視点で再構成、企業価値の本質を株式市場に解き放つ
「エッセンシャル統合報告書」の提供を開始
～分厚い参照冊子から、投資判断のエッセンスへ。中堅・成長企業の対話力を最大化～

TAKARA & CO グループで、ディスクロージャー関連のシステムを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井 恒太）は、上場企業の企業価値向上を支援するため、投資家の投資判断に必要な情報に特化して構成する新しい形式の統合報告書「エッセンシャル統合報告書」の制作・コンサルティングサービスを開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景：求められる「市場との対話」と、制作現場の課題

昨今、東京証券取引所による「資本コストや株価を意識した経営」の要請を受け、多くの企業が株式市場（投資家）との対話を重要視しています。その中心的なツールとなるのが「統合報告書」です。しかし、一般的な統合報告書は、あらゆるステークホルダー（顧客、従業員、地域社会など）に向けた情報を網羅しようとするあまり、ページ数が100ページを超えることも珍しくありません。その結果、制作担当者の業務負荷は増大し、肝心のユーザーである投資家からは「情報が多すぎて、企業の成長シナリオが見えにくい」という声も聞かれるようになりました。

2. 「エッセンシャル統合報告書」のコンセプト：網羅性から、本質の追求へ

このたび提供を開始する「エッセンシャル統合報告書」は、従来の統合報告書を単に要約したものではありません。国際的な報告フレームワークの精神である「投資判断に役立つ情報」という原点に立ち返り、情報の見せ方を根本から再構成した全く新しい開示スタイルです。

最大の特徴は、ページ数を20ページ程度に凝縮している点です。「この会社は将来どう稼ぐのか」「なぜ今、再評価されるべきなのか」という、投資家が最も知りたい問いに対する答え（成長ストーリー）を、経営者の言葉で明確に語ることに主眼を置いています。

3. 既存の統合報告書との違いと、本サービスが選ばれる理由

従来の統合報告書は、幅広いステークホルダーに対して企業の全貌を網羅的に伝える「説明（アカウンタビリティ）」の媒体であり、企業の社会的責任を果たす上で非常に意義深いものです。一方で、今回当社が提案する「エッセンシャル統合報告書」は、情報を絞り込み、投資家に対して成長の道筋を問いかける「対話（エンゲージメント）」のツールとしての役割に特化しています。

1) 対象読者の明確化

すべての関係者に配慮するのではなく、あえて「投資家」に対象を絞ることで、株価や企業価値向上に直結する対話を実現します。

2) 経営の「意思」を可視化

過去の実績データの羅列ではなく、将来に向けた経営者の判断や、市場からの評価をどう受け止めているかという「意思」の開示を重視します。

3) 制作プロセス

事前質問とインタビューに当社のノウハウを結集し、従来制作リソース不足で発行を見送っていた中堅・成長企業様でも、短期間かつ効率的に、質の高い情報開示が可能となります。

4. 構成の特徴

本統合報告書は主に以下の3つで構成され、投資家との共通言語でストーリーを展開します。

1) 「なぜ今この会社なのか」

株価水準や市場評価を分析し、今後の再評価の兆しを示します。

2) 「どこで稼ぎ、どこに投じるか」

事業の強みと、将来の成長に向けた投資戦略を論理的に説明します。

3) 「株主にどう報いるか」

成長の果実をどのように株主へ還元するか、その方針と約束を明示します。

5. 機関投資家・アナリスト目線の保証

機関投資家が取材を通じて行う「企業価値の本質を射抜く問いかけ」。この高度なプロセスを制作指針として定着させるため、オメガインベストメント株式会社が編集・インタビューシステムを監修しています。

同社は、英国大手運用会社の元日本株責任者、ヘッジファンドおよび証券会社調査部門出身のアナリストなど、第一線で活躍した専門家を多数擁しています。独立系のプロフェッショナルな調査会社として提供されるそのレポートは、多くの投資家から厚い信頼を得ています。

企業 URL : <https://omega-inv.com/ja/>

6. 今後の展望

「エッセンシャル統合報告書」は、形式的な情報開示の負担を減らし、経営そのものを伝えるツールへの転換を促します。当社は本サービスを通じて、日本企業の本来の価値が正しく市場に評価される環境づくりに貢献してまいります。

【エッセンシャル統合報告のご紹介】

商品の詳細については、こちらからご覧ください。

https://www.takara-print.co.jp/service/ir/integrated-reporting/essential.html?utm_source=press&utm_medium=release&utm_campaign=essential_20260209



【本リリースに関するお問い合わせ先】

宝印刷株式会社 総務部（広報担当）

TEL : 03-3971-3101

以上